

## 岩城 晶巳 議員（代表質問）

### 1 滑川市の学校教育について

- ・ 滑川市は他の市と違う特徴ある教育がなされている。それらを中心にこれまでの施策について検証したい。

#### ア 科学の時間について

- (ア) そもそも導入目的を改めて問う。
- (イ) 児童は多種多様性を持っている。これだけについて特化させるのは個性を削ぐのではないか。
- (ウ) 器材関係は各学校そろっているのか。
- (エ) 観察実験アシスタントの採用はどうなったのか。

#### イ 土曜授業について

- (ア) 平成26年度より実施されている。この施策は賛否いろいろあるのはご承知だと思うが、認識しているか。
- (イ) 見直しについての陳情もあったが、どう受け取る。
- (ウ) 成果はあると考えるか。

#### ウ タブレット導入について

- (ア) 国では2024年度まで全国の小中学生「1人1台」のパソコンかタブレットを無償で貸し出す方針と報道されていた。そこで滑川市は、今年度予算で今まで導入されていなかった寺家、田中、東部、東加積小学校へ設置されたのか。
- (イ) 総台数はどれだけか。
- (ウ) 国は児童・生徒全員としているが、今回の滑川市の導入で何人1台となるのか。
- (エ) 週何時間の授業か。
- (オ) 担当講師は、2名で大丈夫なのか。
- (カ) 年度途中の導入になるが、授業に差し支えないのか。

- エ 学校司書配置事業について、全小中学校に学校司書を配置し、子ども図書館と連携しながら、読書活動の推進、読書環境の充実を図り、そして朝読書の習慣化を図るとのことだったがそれを踏まえて問う。

- (ア) 今年度の各学校、子ども図書館の貸出数量は前年度と比べ変化はあるのか。
- (イ) 朝読書は、各学校どの程度普及されているのか。

- オ 英語教育について、今年度ALTを3人から4人に増員し、新学習

指導要領に基づき小学校高学年、中学校の本格実施に備え、児童生徒がネイティブ英語に触れる機会を充実し、コミュニケーション能力の育成に努めるとしたが成果は。

#### カ 学校給食について

- (ア) 学校給食における地元産野菜の使用は、平成26年度で50%を超えたが、その後一進一退している。次の目標は60%としていたが、平成30年度にはどうなっているか。
- (イ) 他市の自給率はどの程度か。
- (ウ) 目標が高いのではないか。

## 2 プレミアム付商品券について

- ・ 消費税が10%に引き上げられたことに伴う低所得者や子育て世帯に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起するため、プレミアム付商品券を発行した。子育て世帯については発送しているから問題ないが、低所得者向けについては申請としているので全国的に申し込みが予想より少ないとのことだが。
  - ア 申請は11月29日締切りだったが滑川市の状況はどうか。
  - イ 全国的に申請が少ないので締切りを延長したとのことだが、いつまでか。
  - ウ 延長の広報活動はどのようになされているのか。

## 3 水橋高校跡地活用について

- ・ 県は跡地活用について検討を始めていると聞く。魚津市の新川文化ホールのように、隣である滑川市も気軽に利用できるような施設の設置を要望していくべきではないのか。例えば、県は武道館の設置場所がないので困っていると聞く。またちょっとしたコンサートや会議ができるミニホールでもよい。水橋高校跡地活用を、上市町と連携して滑川市が要望していくべきではないのか。

## 4 滑川蒲鉾購入について

- (1) 今までこの議案は2度否決されている。今議会また再々度提出された。市長は「議会の判断を尊重する。」との見解だった。しかしそれでも取得が必要と判断されたものとする。そこまで突き進む要因はなにか。交

渉中どんな話がなされて購入価格が40%近く下がったのか。

(2) そんなに市として必要な建物なのか。

(3) 議会は当時は「建物を壊していただいて土地購入だけならば対応も違うのだが。」との見解だった。改めて詳しい状況を尋ねたい。



## 古沢 利之 議員（代表質問）

### 1 会計年度任用制度について（議案第82号、83号に関連して）

- (1) 総務省は「公務の運営は任期の定めのない常勤職員を中心とするという原則を前提」としている。見解を問う。
- (2) 処遇改善につながるのか。
  - ア これまでの処遇とどう変わるのか。
  - イ フルタイムとパートタイム職員の処遇格差について
- (3) 会計年度内を前提とした雇用だが、再雇用はどうか。

### 2 防災対策について

- ・ 100年に1度とされるような災害が頻発している。認識を改めなければならない。
  - ア 洪水ハザードマップの見直しが予定されている。防災計画全体の見直しはどうか。
  - イ 避難所の見直しは必要にならないか。
  - ウ 避難所の生活環境の改善への取り組みが必要でないか。  
ブルーシートで雑魚寝の状態でもいいのか。
  - エ 避難所に指定されている体育館へのエアコン設置を計画しないのか。

### 3 地域医療体制の確保について

- ・ 厚生労働省による厚生連滑川病院の統合、再編に関する発表は市民を不安にしている。背景には国が進めようとする「地域医療構想」がある。
  - ア 「病床削減ありき」になっている。見解を問う。
  - イ 地域の実情はどう反映されるのか。本市が主張する場はあるのか。

### 4 教員の負担軽減について

- ・ 市内教諭が公務災害（過労死）と認定されたことは重大。二度と起こらないようにするための対応について問う。

- ア 現場の実態はどのように把握されているか。
- イ 負担軽減にどのように取り組んでいるのか。

## 大浦 豊貴 議員（一般質問）

### 1 寺家小学校職員駐車場について

- (1) 寺家小学校職員駐車場の舗装整備要望が、何年も前から提出されていたが、見送りされていた理由について問う。
- (2) 本年も継続要望を出されているが、令和2年度予算編成新規・拡充分の予算要求は、11月28日までが期限であった。令和2年度予算編成へ予算要求書を提出されたか。

### 2 中滑川駅周辺整備計画について

- (1) 中滑川駅周辺整備について、今定例会の補正予算案として基本設計費を400万円増額されたが、提案理由では施設内容充実のため規模を見直すという説明だった。規模の見直しに至った経緯について問う。
- (2) 6月定例会で可決された1,000万円の中滑川駅周辺整備事業基本設計業務委託は、11月28日に指名競争入札が行われ、落札結果を公表されたが、落札額に対する見解並びに今定例会の補正予算、基本設計費400万円の算出根拠を問う。
- (3) 中滑川駅周辺整備は、総事業費・年間維持管理費・運営費は全て変更になると考えるが、概算予定額を問う。
- (4) 規模の見直し・追加投資による効率性・費用対効果について問う。
- (5) 令和元年6月定例会中に開催された、産業厚生建設委員会並びに提出された議案第41号 令和元年度滑川市一般会計補正予算（第1号）の修正案に対する反対討論でも、将来的な公共施設の集約・統合など、入居可能なものとしての要望が出されたが、見解を問う。

### 3 滑川漁港周辺整備について

- (1) 滑川市の水産業を取り巻く現状に対しての見解を問う。
- (2) 本市では水産庁の推進する浜の活力再生プランの策定を計画し、令和

2年度からの施行を目指しているが、国では平成26年から施行されており、現在、国全体で約640地区、富山県でも7地区が水産庁から承認を受けているが、本市の策定期間に関する背景について問う。

- (3) 策定中のプランの基本方針・目的は何か。
- (4) 滑川蒲鉾跡地・施設の必要性として、「今後の漁業振興にとって活用価値の高い土地である。」という説明があったが、当局の考える漁業振興にとっての活用価値とは何か。
- (5) 漁業関係者を中心として協議している中で、取得計画場所は将来的にも漁業振興という面で利用度の高い場所であり、施設についても漁業関係で利用させていただければ、活用できるという意見だが、漁業関係の活用方法について問う。
- (6) 浜の活力再生プラン策定にあたって、地域水産業再生委員会が設立済みだが、構成員は水産庁の掲げる必須構成員のみか。加工業者・流通業者など任意による構成員の委員会招集は検討しているか。
- (7) 漁獲量増大の取り組みや、新規漁業・高品質化・衛生管理など具体的な取り組みは検討されているか。



## 脇坂 章夫 議員（一般質問）

### 1 北加積小学校の駐車場について

- ・ 北加積小学校（きたかづみ認定こども園含む）の駐車場について、今後拡張する予定はないか。

### 2 滑川市の大地と水循環を守る条例について

- (1) 大地と水循環保全審議会の委員は。
- (2) 今後の「滑川市の大地と水循環を守る条例」の流れは。
- (3) 現時点における滑川市内での「陸砂利採取」の実施と計画はあるか。
- (4) 今後の「滑川市の大地と水循環を守る条例」の整備の計画について

### 3 各小学校スクールゾーン看板について

- ・ 小学校の通学路に設置されている「〇〇小学校スクールゾーン」（キラリンとピッカ）の横断中の看板が色あせているものがまだある。取り替えについての考えを伺う。

### 4 図書館について

- (1) 利用者数はどうか。
- (2) 男子トイレの個室の扉は内側に押し開閉する方式であるが、左右引きに変更できないか。

### 5 滑川漁港の観光整備について

- ・ 富山湾は「世界で最も美しい湾クラブ」としての魅力を世界に発信し

た。滑川漁港も総合開発のチャンスと思うが問う。

## 竹原 正人 議員（一般質問）

### 1 Net 3の行く末について

- (1) 令和元年10月滑川中新川地区広域情報事務組合議会定例会において
- ア 財政基盤の脆弱な当組合では、将来にわたって持続可能で安定的なケーブルテレビ事業を継続することが困難であり、苦渋の選択ではあるが、民間事業者に事業譲渡することが最善の方法であると判断したと報告を受けた。理由は。
  - イ 今年5月に議員向けに勉強会を行った際、コンサルタント会社に調査を依頼し、結果について4つの選択肢が提示され議論が行われた。いくつもの意見が出されていたにも関わらず、途中の検討課程についても何の報告もなく、10月の定例会において結論のみの報告であった。やり方がおかしくないか。
  - ウ 今回の民間事業者に事業譲渡する上で将来のケーブルテレビNet 3のあり方を見据え、F T T H化の詳細設計の実施を含めた、ケーブルテレビの運営主体を公募すると、公募についての基本的な考え方の資料に示された。この時の定例会では、F T T H化実施設計業務委託費として4,000万円の予算計上されたが、公募の中に一緒に入れるのはおかしいのではないか。
  - エ F T T H化実施設計業務委託をし、結果が出てから、次のステップに進むのが正しいと考えるが、見解は。
- (2) 令和元年度滑川中新川地区広域情報事務組合ケーブル事業譲渡に向けた優先交渉事業者公募要領について
- ア 公募事業者は現れたのか。
  - イ 提案事項についての、F T T H化の全体整備及び資金調達計画に、現在設置しているケーブルの撤去費用が含まれていない。また、自治体の負担を求める場合は、その具体的な考え方等提案することになっているがあいまいではないか。
  - ウ 基本的に独立採算とし、自治体の負担はない前提での計画とすることとあるがどう考えているのか。
  - エ 公募した事業者が、自治体負担の話し合いの結果、辞退されることも考えられる。その場合どうするのか。
  - オ N T Tのフレッツテレビの参入について、どう考えているのか。
  - カ ケーブルの耐用年数等以前から、わかりきっていることを先延ばしにした結果今になって急にF T T H化に急いでいる気しかしない。どうしてか。
  - キ ケーブル事業を開始する時は、Net 3に入ってくれと営業をして

回り、キャンペーンをしながらも、加入者の獲得に努力をしてきたはずなのに、多額の投資が必要とわかると民間事業者へ事業譲渡しようとしている。無責任ではないか。

## 2 観光振興について

- (1) 来シーズンのほたるいか海上観光の2隻体制の維持は大丈夫か。
- (2) 今シーズンのホタルイカの漁獲量では、海上観光における神秘的な光景が多く見られなかった。来シーズンも同じ様なことになったと仮定して、対応をどう考えているのか。
- (3) おもてなしの更なる進化は考えているのか。
- (4) 台湾へ観光PRした結果を踏まえ、来シーズンの観光客誘致についての取り組みは。

## 中川 勲 議員（一般質問）

### 1 厚生連滑川病院の今後について

- (1) 滑川市にとっては、唯一の公的病院であり、将来的にも安定して医療にあたって欲しい。そのためにも早急に話し合いを進めるべきと思うが。
- (2) 将来的にどうあるべきと考えているのか。
- (3) 病床を減らすとのことだが、現在どれだけ空き病床があるのか確認されているのか。
- (4) 医療費を削減することが目的で、在宅医療やリハビリ病床への転換を進めるとのことであるが、何か動きはあるのか。

### 2 豪雨に対する安全・安心の備えは十分か。

- (1) 集中豪雨による市内の河川、用水、排水路の対策は万全か。
- (2) 災害が発生、また発生のある恐れがある場合、市民への通信方法や、避難所への案内の訓練は万全か。
- (3) 高齢者の避難所への誘導対策は考えているのか。
- (4) 中滑川駅周辺整備地域における洪水対策は万全か。
- (5) 数十年から100年に1度レベルを想定した洪水ハザードマップによると、工業団地6カ所の内3カ所が洪水により0.5～1m未満の浸水想定区域になっているが対策は。

### 3 子どもサミットで子どもたちが体験して感じたことを発表したけどどう対応するのか。

- (1) ゴミが多いので毎週ゴミ袋を持ってゴミ拾い。ゴミを捨てないようPRが必要では。

- (2) 滑川市全体で環境美化に取り組むべきでは。
- (3) 地域の人との触れ合いができるボランティアが多くあればいい。
- (4) 道路の暗い所に街灯が欲しい。
- (5) 障害者を理解し、バリアフリー化の推進を。
- (6) 花壇をたくさんつくり、花をたくさん植えればいい。
- (7) 深層水の効果を多くの人に知って欲しい。
- (8) 深層水トマトがおいしいのだから、他の野菜にも使えばおいしくなるのでは。

## 青山 幸生 議員（一般質問）

### 1 人口増加について

- (1) 滑川市の過去5年間の出生率推移はどうか。
- (2) 市町村別県内異動者数では、男性より女性の転出数が多い。市としてどのような見解か。
- (3) 滑川市、年齢（5歳階級）男女別転入転出者数を見て当局の見解は。
- (4) 高校生等医療給付費についての詳細はどうか。財源は試算しているか。
- (5) 高校生等医療給付費については、どのようにPRしていく予定か。

### 2 浜の活用について

- (1) ゴミの散乱が多くみられるが見解は。
  - ア 高月漁港
  - イ ほたるいかミュージアム横、小柴橋の下
- (2) 浜の活用推進事業費について、活用計画を運用できる組織の見解は。
- (3) 建物の修繕についての見込みは。





## 浦田 竹昭 議員（一般質問）

### 1 常任委員会での勉強会について

- (1) 産業厚生建設委員会において、重要政策課題である中滑川駅周辺整備事業、並びに滑川蒲鉾跡地購入について、委員会協議会ではなく、非公式・非公開の勉強会で説明されたのはなぜか。また、他言無用とされたのはなぜか。
- (2) 今回、中滑川駅周辺整備事業の設計費の増額追加予算、並びに滑川蒲鉾跡地購入予算が計上されているが、勉強会という形をとったことで産業厚生建設委員会委員以外の議員には、全く知らされない不公平感があった。議論すらできない状況で、また市民に対して説明する機会もなく、公平、公正で透明性に著しく反する行政行為であり、市民への信頼性に欠け、議会軽視と言わざるを得ないと思うが見解は。

### 2 中滑川駅前周辺整備事業について

- (1) 6月定例会で可決・承認された設計予算（1,000万円）が、いまだに執行されないのはなぜか。
- (2) 今回、設計予算の増額追加補正（400万円）の理由、内容、根拠について
- (3) 6月定例会で可決・承認された、中滑川駅周辺整備事業基本構想から、今回大幅に修正変更されるとのことであるが、その変更目的、並びに施設構造の内容、施設の配置、施設建設予算額等について
- (4) 都市総合防災推進事業の計画申請提出、認可予定、計画変更申請提出等、計画申請のスケジュールについて
- (5) 都市総合防災推進事業の当所申請計画、変更申請計画のそれぞれの内容について、並びにそれぞれにおいての交付金支給予定額について
- (6) なぜ、このような小細工をしなければならないのか、この機会に一旦リセットして、あらためて市民ニーズを把握され、市民にとって最も必要で有効な施設で、将来にわたり利用されるような有益な公共施設となるよう、再考されてはいかかと思うが、見解は。

### 3 滑川蒲鉾跡地購入について

- (1) 滑川蒲鉾跡地の購入について、平成29年6月定例会で、施設の老朽化、取得額の妥当性、取得後の活用計画の不透明性等の観点から、全会一致で否決され、そして、9月定例会でも議会軽視と批判されながらも、全く同様の内容で上程され、また全会一致で否決された事案で、今回は3度目の上程となるが、明確な購入目的、構想は、また取得額以外で変わった内容は何か。
- (2) 平成29年6月、9月の定例会での、取得提示額が、4,800万円だったのが、今回の取得額が2,000万円で、その差額2,800万円の根拠について
- (3) 取得後の活用方法に基づいた、漁具倉庫としての改修、トイレ・手洗い場の改修、シャワー施設の改修、天日塩作業体験施設の改修、急速冷凍施設の改修、水産加工品の販売所の改修、海鮮食堂・料理教室場の改修、休憩室・カフェの改修等それぞれの修理、修繕、改修費用、並びにその総額について、また運用後の維持管理費用の想定額等の内訳について
- (4) 滑川蒲鉾跡地を漁業関係者に購入していただき、その購入額の一部を補助助成し、また漁業関係者が主体となり様々な漁業振興事業を展開していただき、その事業に対して行政が手助けをし、一部補助助成することで、民間活力により漁業振興に繋げる手法について検討できないか見解は。
- (5) 既存施設の当面の活用方法、並びに予想される将来の活用方法は、後付け項目・内容であり、不透明なところであり、ましてや人口減少時代にあって公共施設の見直しが議論されているなか、中古施設を購入し、市の負の財産とならないか、行政自ら事業を行う必要があるのか、メリットがあるのか、そして市民全体の公共の福祉に寄与するのか見解は。

### 4 青雲閣の改築計画について

- (1) 耐震構造ではない青雲閣の対応対策、並びに優先度の認識について、また万が一の地震災害での被害者への行政責任の認識について
- (2) 青雲閣改築特命担当が設置されてから、8ヶ月が経過しての事務進捗

について

- (3) 青雲閣改築に向けて、先進地視察されたとのことであるが、参加メンバーは、何時実施され、視察先はどこか、そして成果・評価・報告について
  
- (4) 今後、基本構想策定、関係箇所説明会、基本設計・実施詳細設計策定、実施・施工、完成までの一連のスケジュールについて



## 尾崎 照雄 議員（一般質問）

### 1 滑川蒲鉾跡地取得について

- (1) 建築物の耐震診断と、アスベスト診断をすべきではないか。
- (2) 当面の活用のための必要経費はいくらか。
- (3) 魚料理の食堂としての活用計画とあるが、詳細計画はできているのか。

### 2 東福寺野自然公園について

- (1) パークゴルフ場のある公園内へのイノシシの侵入件数は本年何件か。
- (2) イノシシ侵入対策について
- (3) 青雲閣の厨房で発生した労災事故について
  - ア 事故の発生内容、原因について
  - イ 安全対策について

### 3 教育について

- (1) 教師の働き方改革の観点から、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの更なる充実をはかってはどうか。
- (2) 市内全小学校で行われる学習発表会の内容に、教育委員会は関わるべきでないか。

### 4 健康寿命延伸について

- ・ フレイル予防について
  - ア フレイル予防の取り組みと課題について
  - イ オーラルフレイル予防の取り組みと課題について
  - ウ フレイル予防の周知啓発について
  - エ 市民参加型のフレイル予防について



## 開田 晃江 議員（一般質問）

### 1 まちづくりについて

#### (1) 滑川市の事業のあり方を検討するべき

- ア 滑川市の天日塩、今後公設民営化は考えないか。
- イ タラソピアの外壁はあのままか。コンクリート打ちっぱなしで行くなら、プロジェクションマッピングを活用し、滑川の宣伝と子どもたちが喜ぶ短編映画を映して、楽しい事業の取り組みを企画運営できるような事業者と検討してはどうか。
- ウ 滑川蒲鉾建屋の利用はどのような考えか。網干場や塩の検査室、プロトンの移設などと聞いているが、古い建物は食品を取り扱う場所としてなじまないのではないか。
- エ あの場所の土地の取得を考えるなら、10年～20年後を見据えた構想をもっているのか伺いたい。また、海の町滑川にふさわしい構想を検討する場を設けることが望まれるがどうか。
- オ 観光船キラリンの氷見航路は、どれ程の利用があったのか。氷見まで船で行き、帰りはどのように帰ることを想定して、この氷見航路を設定したのか伺いたい。
- カ ダイバーの皆さんが滑川に来られることは誠にうれしいが、海の中で魚を見る、このことに漁業関係者との、今後に向けた話し合いや合意はできているのか。片やお楽しみ、片や生活、立場が全然違うことの認識はあるのか。
- キ ダイバーの皆さんが入ってもいい場所をきちんと決めて、その場所に入るときは、トイレや更衣室をつくる目的でふるさと納税の依頼をしてはどうか。寄付を募る知恵も。
- ク 中滑川駅前都市計画道路橋場国道線の交差点ラウンドアバウト化は、補助をもらうからいいでは駄目だと思う。市民が分かりやすく、安全に安心して通れる市民のための道路にするべきと思うがどうか。交差点の計画は、どのような観点から優位性が認められるのか。

#### (2) 滑川市公共事業審議会を設置するときでは。

- ア 滑川市都市計画審議会は、年何回開催されているのか、どのような内容か。審議会から市に意見書等提出されているのか。
- イ 滑川市総合計画やこのような大型プロジェクトの審議は、誰がどこでしているのか。行政だけで、職員だけで抱えると大変重いものを意思決定していることになる。市民に分かりやすく、その事業が必要か必要でないかを考えるには、委員を外部や市民から選定し、アドバイザーを招き、市民の意見を十分に聞いて、滑川市総合計画に基づいて、

必要に応じて見直しつつ進めるべきではないか。

## 2 福祉について

- ・ 滑川包括支援センターの役割について
  - ア 市民の相談を一手に引き受ける場所として狭すぎないか。
  - イ 災害時、要支援見守りマップは滑川全体で把握しているか。できていない地区もあるのか。できていない地区は放っておくのか。緊急時、誰でも手を差し伸べられる体制へ。
  - ウ 自治会を通じてアンケートを取られたが、全地区で行われたのかどうか、結果をどのように福祉に生かして行こうと考えているのか、今後の取り組みは。
  - エ 生活支援・介護予防サービス体制整備協議体が4月24日に立ち上がったと聞いた。民生委員との違いは何か。各地区の協議体の人数は。
  - オ 協議体に参加されている人に費用弁償は考えているか。ボランティアは『ただ』の精神は駄目では。
  - カ 滑川全体を通じて、福祉介護課を中心に包括支援センターや社会福祉協議会等と現状把握と情報共有、役割分担等決め、細やかに協議する滑川市福祉連絡協議会を立ち上げればどうか、どこどの部分に手助けが必要か、どの部署がサポートできるのか、そのためには現場が分かる人たちが知恵を出し合うことで市全体の福祉に片寄りがなくなり、福祉の向上につながるのではないかと考えるがどうか。



## 角川 真人 議員（一般質問）

### 1 中滑川駅周辺整備について

- (1) 都市計画道路変更概要の中にバス乗降場があるが、今後の地域公共交通網形成計画において、バスの運用に変更があった場合も想定されているか。
- (2) そもそもバスを利用する客層を考えると、乗降場が駅から離れすぎている。一般車送迎場と逆にすべきではないか。
- (3) 今回の計画の中での一般車送迎場は、一時道路に横付けして利用する想定となっているが、ここには明確にラインを引くなり、区別化が図られるものと思う。この際、同じく朝の送迎車で混雑する滑川駅前も、そうしたエリアの区別化を図ってはどうか。

### 2 買い物対策について

- ・ 近くに商店がなくなった町内も増える中、だんだんと高齢化も進み、買い物のために車を出すのも危ないと言われる世の中になってきている。どんな地域でも安心して老後を過ごせるために、食料品や日用品などを購入できるよう、移動販売車や販売所の取り組みを検討してはどうか。

### 3 空き地・空き家について

- (1) 空き地・空き家バンクの利用状況はどうか。
- (2) 所有者が県外あるいは不明なため、放置されている状況になっている危険空き家への対応はどうか。
- (3) 空き家を除却した後の空き地は活用されているか。市で管理しているこうした空き地の状況はどうか。

